

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 27. 5. 13 第 189 回国会第 8 号

5 月 13 日（水）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
- 理事 井坂信彦君（維新）（理事松木けんこう君今 13 日委員辞任につきその補欠）

2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・林農水産大臣、西村内閣府副大臣、あべ農林水産副大臣、中川農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

伊東良孝君（自民）

- ・5 月 4 日の記者会見における西村内閣府副大臣の「来週以降テキストへのアクセスを国会議員に認める方向で調整したい」旨の発言に至る経緯を伺いたい。
- ・米国通商代表部（USTR）から、米国議員に対する情報開示をどのように行っているか。また、その内容に対する西村内閣府副大臣の見解を伺いたい。
- ・今後の TPP 交渉についての情報開示の取組に対して西村内閣府副大臣はどのように考えているのか。

石田祝稔君（公明）

- ・TPA 法案が米国議会において成立しなければ、TPP 交渉は妥結しないと認識なのか。
- ・TPP 交渉妥結による水産物に対する影響をどのように認識しているのか。
- ・外国人観光客の来日を契機に、日本食の PR を推進すべきではないか。

玉木雄一郎君（民主）

- ・5 月 4 日の記者会見における西村内閣府副大臣の冒頭発言は、政府の調整を経たものか、個人的なものか。
- ・守秘義務に関する日米の制度の違いを理由に情報公開を阻むのは間違っているのではないか。
- ・米国議会における安倍内閣総理大臣の演説は、関税を守ったことで農業が衰退したと述べているという印象があるが、農林水産大臣はどう考えるか。

岸本周平君（民主）

- ・的確な土地利用に関する計画の策定等のための施策（都

市農業振興基本法第 13 条）についての所見、ゾーニングについての考え方を伺いたい。

- ・都市農業を推進するための税制措置のアイデアはないか。
- ・これまでの農福連携の取組の内容及び評価、また、今後の展開方向を伺いたい。

小山展弘君（民主）

- ・「強い農業」とはどのような農業を意味しているのか。
- ・今年のお茶の価格が低下した原因を農林水産省はどのように認識しているのか。
- ・農協が買取販売を進めることは、出荷者である組合員農家の所得向上にどう結びつくのか。

村岡敏英君（維新）

- ・TPP 交渉の過程において、国会等に対してしっかり情報開示をすべきと考えるが、西村内閣府副大臣はどのように考えているのか。
- ・台湾による日本産食品の輸入規制はどのような状況なのか。
- ・中山間地域で高齢化が進む中、現行制度だけで今後 10 年、20 年と地域を守ることができると考えているのか。

仲里利信君（無）

- ・沖縄県辺野古に関する沖縄防衛局からの申立てに対する沖縄県知事の指示効力停止の決定に際し、水産資源保護を理由としなかったのはなぜか。
- ・同指示効力停止の決定に際し、他省庁所管事項を理由としたことに正当性はあるのか。
- ・短期間で同指示効力停止を決定した理由は何か。

小 熊 慎 司君（維新）

- ・ T P P 交渉に関する情報公開について、前向きに検討するつもりか。
- ・ 国民経済及び国民生活に重大な影響を及ぼすおそれのある通商に係る交渉に関する情報の提供の促進に関する法律案（岸本周平君外 3 名提出、衆法第 19 号）に対する西村内閣府副大臣及び農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・ 農産物の禁輸措置を受けている地域に対し、支援措置を講ずるべきではないか。

畠 山 和 也君（共産）

3 農林水産省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 24 号）

- ・ 林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。

- ・ 過去に秘密保持契約にサインをして通商交渉に入った例はあるか。
- ・ 米国議会における安倍内閣総理大臣の「20 年以上前、G A T T 農業分野交渉の頃です。血気盛んな若手議員だった私は、農業の開放に反対の立場をとり、農家の代表と一緒に、国会前で抗議活動をしました。ところがこの 20 年、日本の農業は衰えました。」との発言の意味を農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・ T P P 交渉における甘味資源作物の取扱いに対する農林水産大臣の認識を伺いたい。